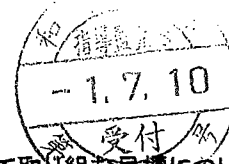


(別紙4(2))

### 目標達成計画



事業所名 グループホーム ふるさと

作成日: 2019年 7月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	当ホームの設立当初から入居されている方も多く、15年という月日の中で高齢化や重度化が進み、身体的機能が低下されていることが多く出現し、日常生活動作に困難がみられる。それに伴い外出や日常動作が難しくなってきたり、終末期に向けての支援が施設としての取り組みであり、課題と考えられる。一人ひとりに合った支援を行えるよう、家族、医療などの関係各位との多角的視野から連携を図っていく。また日常生活の中での楽しみの持ち方や、健康面、認知症に対する関わり方や援助内容、勉強会なども課題として取り組んでいく。	ご本人の負担を軽減できる入浴方法、定期的な医療機関の診察、毎日の健康状態を把握し、いち早く変化に気づける工夫。生活リハビリテーションやレクリエーションに参加できる。スタッフと共有する時間を多く持ち、コミュニケーションを図り、その中でご本人の思いや要望を汲み取る。安心して穏やかに暮らせる毎日を提供する。	寝たきりの方の入浴の負担の軽減、且つ安全に入浴できる事を目指し、ストレッチャー等の介護用品購入を検討する。	12ヶ月
2	35			軽度重度に関わらずその人らしい暮らしができるよう努め、ご本人やご家族の思いや希望に寄り添える支援を目指す。	12ヶ月
3	23			レクリエーションや行事等、入居者様と一緒に考案し、皆さまで楽しめるよう工夫する。	12ヶ月
4	30			職員全体で介護過程を学びながら統一した個別援助に取り組む。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。